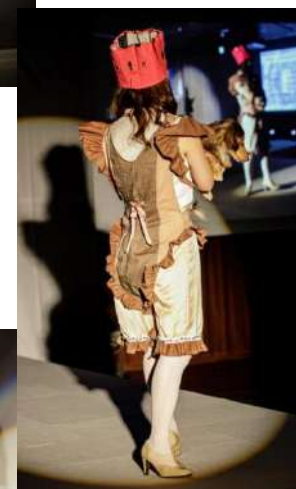


4班 ゴシック



15世紀のゴシックは、悪魔や魔女などを連想させるアイテムや黒やダークな赤など、暗いイメージの色合わせの奇抜な装飾が使われていました。この頃の女性は長いスカートと髪の毛を隠す風習があったため、「エナン」と呼ばれる円錐型の装飾的な帽子が流行しました。また、体のラインをはっきりと出す服装が主流となり、上流階級の女性の服装であった紐締めしているコルセットが比較的に着用されていました。

この時代背景を元に、ブラックとホワイトをメインとした2体を製作しました。

4-1



ゴシックの昔のイメージと今のイメージを組み合わせました。昔はコルセットをし、S字ラインを強調していましたが、体全体を覆うことによって、体型にとらわれない現代に寄せたコルセットをつくることができました。

4-2



ケープの原型から作り、どれだけ、幅を広げるか丈の長さも決めて、制作をしました。腕を通す部分は、ケープが縫い終わったら、肩からはかりどれだけ、あけるかを決めて、裁断して、ステッチで縫いました腕を通す部分は、切る長さを考えて、オーガンジー素材は、生地が柔らかいので、接着心は薄いのを使いました。



15世紀のゴシックは、奇抜な装飾と誇張された体型を特徴としていたため、スカートにバラの柄のフリルをつけて、奇抜にし、ウエストのゴムを太めにするすることで、ウエストを誇張させました。巻きスカートにすることでシンプルすぎず、装飾は邪魔しないデザインになったと思います。



15 世紀の男性のパンツの形をそのままシルエットに落とし込み、膝丈で裾にフリルをつけることで現代のゴシックの可愛さを表現しました。そして、上流階級の方が身につけられていたことから、レースとビーズを施し豪華さを演出しました。



15 世紀ヨーロッパの特徴を残しつつ、現代でも着こなせるようなデザインにできるように工夫して考えました。

現代の着やすい着こなしを考えてコルセット風に仕上げました。

4-6



トップスの袖をだんだん広がっていくような袖にしました。首元は他のアイテムとバランスをとるため少しギャザーをよせました。シンプルに仕上がっているので、他のアイテムとのバランスがいいと思います。丈も少し短くしました。



15 世紀ゴシックの上流階級の女性のイメージと現代のゴシックのイメージを掛け合わせました。フリルを首元にあしらって現代のゴシックをあらわし、首元のリボンはコルセットのバックリボンと同じものを使用し、統一感を出しました。



バッグは黒のモノトーンのシンプルなコーデが、バッグを持たせることで少し華やかに見えるようにしたかったから、色は一色のみだけど、その代わり大きい薔薇を付けて、派手になりすぎないモノトーンのコーデにあったバッグにしました。帽子は、15世紀のゴシックのファッションと全く変えず、とんがり帽子のバックに透け地のものを付けました。